

# 子育て公園

## 園の支えは親の協同の中で

— こまくさ乳児園の保母が語る —

豊栄市の新興住宅街柳原にある私立「こまくさ乳児園」の保母さんたちの子育て論議を聞いてください。

無認可の保育園だった「こまくさ乳児園」は、園児の親とそれを支える地域の人たちが四年にわたる認可運動をして、みんなできくりあげた二十八年間の歴史をもつ乳児園です。

いま、ひとつの転機に立っています。二〇〇〇年（西暦）開設をめざして隣

ひとりじゃないんだ子育ては

今年、臨時雇用から本採用になる若い保母さんがいました。

「ここは複数担任制で先輩の保母さんからたくさん学びながらこどもたちと関われます。時には叱られることもあるけど、なんでも言えてとていい。お母さん、保母の先輩の家庭でのたくましい子育て経験もとても参考になる。

接の市の敷地に保育園をつくり、〇歳から就学まえまでの保育をやるうとしていきます。そしてそこが地域の子育ての中心になれるような構想をみんな考えています。

保母さんたちは、これまで親たちと積み重ねてきた乳幼児の子育ての知恵を整理して、就学前の保育の活動に生かそうと勉強会をひらいて一生懸命考え合っているそうです。

みんな勉強会をしてきちんと力をつけあうところや、お父さん、おかあさんたちとの飲み会での触れ合いが、こども理解の大きなエネルギーになります。もう一人の若い保母さんがいました。

「よその園の友だちが先輩の保母から親にはにこやかにわらってだけいければいいの、親と親しくしゃべってはいけないのといわれたり、一人担任で自分のクラスの中で孤立してひとりでがん



ばっているの間かされると、長時間保育労働や夜の職員会議など大変なこともあるけれど、働く意欲は断然こっちがわいてくるわ」

一人一人の園児たちの日々の育ちが伝えられるクラスだよりや子どもたち

がおむつをはなれて一人でおしっこなどができるようになる道筋、園のとりくみをわかりやすくつたえる園だより（資料参照）、保健だより、給食だよりにもこまやかな心づかいがみえます。親たちもお便りづくりにも参加しています。

このごろの若いお父さん、お母さんの中には、イラストや文章などとても得意な人もいることを発見し、子育ての情報をみんなで作つくる楽しさがひろがっています。

### 親との協同で園は元気だ

中堅の元気な保母さんが語ります。

「お父さんとの飲み会は〇歳児のヒョコぐるみでもあるのです。ご夫婦で参加した行事のあとでやります。

夜、こどももいれての遊ぼう会で、

お父さん探しのカクレンボで童心にかえったお父さんたちが、飲み会で親同士で

仕事や趣味を語り、わが子を語り、夫婦で頑張っている子育てを語っています。年齢も職種もちがうところがおたがいに子育てという共通点で結ばれています。現実の利害関係の多い気疲れのする付き合いでないこの会で、人間を解放しているのでしょうか」

もう一人の元気保母さんもしました。

「必死で口説くのですよ。ぜひ飲み会にきてって。次の保育園建設の建設委員になってって。その若いお父さん、はじめは園の周辺を整備する土方仕事をたのまれたのかと思ったんですって……」

得意の分野で頑張ってくださいるお父さん、お母さんが増えると園は活気がでてきます。保母さんも心強い味方をえて生き生きしてくるようです。お便り帳にもいろいろ注文もできてうれしい悲鳴です。

## 孤立した子育てから

### 協同の子育てをめざして

暮れに豊栄市の保母さんのつどいが  
ありました。一〇〇人をこえる保母が  
実践報告をきき、コーディネーターの  
援助で討議を深めました。

そこで「家庭の子育ての軸がみえな  
い」ということが大きな話題になりま  
した。

園をたばねる立場のベテラン保母さ  
んがいました。

「少子化の中で育ち、親となり、親  
子四人ぐらいの密室のような少人数の  
家庭の中で子育てがおこなわれている  
ケースがおおくなっています。長時間  
密度の濃い共ばたらきをして疲れてい  
る親の子育てはたいへんです。かつて  
の親の子育ての常識でははかりかねる  
ものが多いのです」

別の保母さんたちが引き取ってい

ました。

「十時すぎて子どもをつれてくるお  
とうさんもいます。お仕事のためか、親  
子して遅く寝て時間がずれてしまっ  
ているのです。早寝・早起きの生活リ  
ズムを立て直してと個々面談でいろいろ  
話し合っているのですが」

「親の生活が、働く状況がこうなっ  
ているとしたら、この中で子どもをど  
のように早寝・早起きさせるかとも  
大きな課題です。親達からどのよう  
したら寝かせつけられるかという問  
いがたくさんでてくるのに、どうこた  
えるか話し合っています」

「これからも、激変していく子育て  
環境をみんなで出し合い、家庭保育を  
支える軸がみえない原因を深く探りあ  
って、真に子どもの発達を保障でき  
る園づくりが課題です」

こまぐさ乳児園の保母さんたちは子  
どもたちの中にみえてくる家庭保育の

問題点を明らかにし、園と家庭とが一  
緒になって保育をしていくことをめざ  
しています。

ひらかれた園の活動方針は理事会、  
園、保母たちの職員組合、父母の会、  
O B 父母の会で構成される運営委員  
会でねりあげられているそうです。

さまざまな行事は、お父さんお母さ  
んとの協同でつくる実行委員会です  
めています。これらの行事の活動とそ  
のあとでひらかれる飲み会を通じて、  
保護者や地域の人達との交流がふかま  
っています。

このような活動をつうじて保母さん  
たちは、子育てで孤立していたのは園  
児のお父さんお母さんたちだけでなく、  
自分たち保母も一人の親として自分  
が見るとき、住んでいる地域では自分  
が率先して子育ての連帯をつくる運動を  
する時間すらもないほど忙しい状況  
におかれていることを痛いほど感じま

